

令和5年度 相模原中央支援学校不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上 (法令の遵守、服務規律の徹底)	職員一人ひとりが、常に公務員としての自覚を持ち、規律を守って適切に行動する	不祥事防止職員啓発・点検資料等を活用することで職員の意識向上を図り、事故なく行動することができた。
職場のハラスメント (パワハラ、セクハラ、マタハラ等)の防止	職員間において、立場や役職に関わらず、相手の人権を尊重する言動を心がけるとともに、お互いに意見し合える同僚性の構築に努める	不祥事防止職員啓発・点検資料等の活用や、面接、アンケート等による情報収集や関係者からの聞き取りにより、ハラスメントを起こすことなく過ごすことができた。
幼児・児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	幼児・児童・生徒の人権を守るための研修をとおして、わいせつ・セクハラ行為を防止する	人権研修会の実施や、綱紀保持通知を用いて、幼児・児童・生徒の人権を守るための意識向上を図ることで、防止することができた。
体罰、不適切な指導の防止	幼児・児童・生徒の人権を尊重し、障害特性や行動特性に応じた指導力の向上に努めることで体罰や不適切指導を未然に防止する	毎月実施した不祥事防止会議、不祥事防止研修会、学部等での話し合い、学校独自での不祥事防止研修を実施したことで、互いに指導への気付きのアンテナが高まり、お互いに指摘し合える関係づくりにつながった。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	個別教育計画や進路関係書類、入学選抜に関する書類等を適切に管理することで、事故防止を図る	個別教育計画や入学者選抜に係る資料等はデータ、書面共に管理場所を徹底し、事故はなかった。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報保護及び情報セキュリティへの理解を深め、情報の流れを把握して、個人情報の流出等に係る不祥事を防止する	個人情報を含む書類の保管や持ち出しについては、申請と承認の手続きを徹底することで、防止することができた。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通法規を遵守し、酒酔い、酒気帯び運転の根絶を図るとともに、通勤・出張における運転だけでなく、私的な運転についても意識を高める	不祥事防止職員啓発・点検資料等の活用や綱紀保持通知を用いた研修を実施するとともに時期に応じた注意喚起を行い、大きな事故を起こすことはなかった。
業務執行体制の確保等(情報共有、相互チェック体制、業務協力体制)	法令・要綱・マニュアル等諸規程に基づき、日常点検や相互チェックを行い適正に業務を遂行する	法令・要綱・マニュアル、通知等に従った業務を行うことで、適切に業務を遂行することができた。
財務事務等の適正執行	私費会計について、現金での扱いを極力なくし、適正な執行により、会計に係る不祥事を防止する	手続方法の見直しと、丁寧に手続きをすすめることで不祥事を起こすことなく会計業務を進めることができた。

○ 令和5年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和6年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

体罰、不適切な指導の防止について、年間を通して会議や研修会を設定することで、教職員の指導力や人権意識の向上を図るとともに、意見し合える職場環境、同僚性の向上を目指し取り組んできた。一定の成果は見られるようになってきたが、気付いたことを伝え合う関係性づくりについては、今後も継続して取り組んでいく必要があると感じている。

その他の課題についても、定期的に取り組みを継続することが、事故、不祥事の未然防止に効果があると考えている。